

令和6年度「第9回 貝原俊民美しい兵庫づくり賞」の受賞者と功績等

| 氏名／団体名                     | 功 績 等  |
|----------------------------|--|
| <p>公益社団法人アンサンブル神戸</p>      | <p>阪神・淡路大震災時に仮設住宅などへの慰問演奏をきっかけに、関西を中心とした若手音楽家により発足。</p> <p>平成8（1996）年9月にオープンした神戸新聞松方ホールを本拠地として年間約10回の自主公演を行い、各方面からの依頼公演にも応えている。平成12（2000）年、姉妹団体「神戸21世紀混声合唱団」を発足させ、宗教音楽にも積極的に取り組んでいる。創立当時から元ベルリンフィル第1コンサートマスター、レオン・シュピーラー氏を首席コンサートマスターに招き、アンサンブルの綿密さや演奏能力の向上に努めてきた。</p> <p>平成25（2013）年5月、一般社団法人として法人化し、平成27（2015）年、その活動の公益性が認められ、内閣府より公益法人の認可を受けて、関西を代表するオーケストラとして地域文化振興、発展に貢献するため活動を続けている。</p> <p>平成25（2013）年8月 第2回「KOBEART AWARD（コウベアートアワード）」優秀賞受賞</p> <p>令和3（2022）年度 文化庁芸術祭優秀賞受賞</p> |
| <p>特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所</p> | <p>被災者救済や被災地まちづくりにかかわる専門家で構成された神戸復興塾を母体に平成11（1999）年に設立。まちづくり活動を行う個人・団体への支援、まちづくりに関する調査・研究、政策提言などを実施している。</p> <p>震災復興に関する修学旅行・研修の受け入れ事業や、被災地への支援として、東日本大震災へのまちづくり専門家派遣事業や熊本地震コミュニティ復興支援事業を実施し、仮設住宅でのコミュニティ形成と住民参加の復興まちづくりをテーマに、過去の被災地の経験を学びながら復興を進める地元の活動を支援している。</p> <p>市民が阪神・淡路の被災地を歩く「こうべあいウォーク」を平成10（1998）年から継続的に開催し、震災の経験と教訓の継承・発信活動を行っている。</p> <p>震災30年に向けた兵庫県の防災ツーリズム、防災まち歩きガイド育成への協力など、県内外の被災地支援、まちづくり支援に尽力している。</p>  |

| 氏名／団体名                 | 功 績 等   |
|------------------------|---|
| 特定非営利活動法人<br>あわじFANクラブ | <p>平成18(2006)年、食、農、自然を実体験することで子どもたちの健全育成を図り、あわせて淡路島の魅力を発信し交流人口の拡大を目指して設立。</p> <p>島の食材を活かした親子料理教室、田植え、稲刈り、コットン栽培など多様な農体験、ウミホテルや星空観察などの自然体験の場を提供。また平成20(2008)年から23(2011)年にかけて子ども農山漁村交流プロジェクトに参加し年間1,000人を超える小学生を受け入れた。</p> <p>平成21(2009)年度から「あわじ暮らし総合相談窓口」(県民局委託事業)を開設し、年間1,000件程度の移住相談や移住後のサポートを行い、移住実績は年間100件程度である。</p> <p>活動拠点である都市農村交流施設「宙ーおおぞらー」を交流・情報交換の場として活用するほか、移住支援施設を設けお試し居住に供し定住人口の増加を目指している。</p> <p>平成24(2012)年 人間サイズのまちづくり賞「まちづくり活動部門」(兵庫県)受賞</p> |